

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	日本語第二		
英文授業科目名	Japanese Language II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	2
科目区分	総合文化科目-日本語・日本文化科目-日本語		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	池田 裕、笠原 ゆう子		
居室	P-201		

公開E-Mail	授業関連Webページ
池田裕 笠原ゆう子	

<b>【主題および達成目標】</b>
<b>【主題】</b> 発表能力の養成  <b>【達成目標】</b> ・段落作文と文章構成ができるようになる ・自分の意見や考えを整理して表現できるようになる ・まとまった内容のフォーマルなスピーチができるようになる

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
日本語第一

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
なし

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

#### 【授業内容】

- ・段落作文と文章構成の練習を行う
- ・取り上げた話題についての情報とそれについての自分の考えを文章にまとめ、発表する

#### 【進め方】

- ・具体的なスケジュールは授業開始後にプリントで配布する

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### 【成績評価方法】

- ・出席：20% クイズ・試験：20% レポート・発表等：50% 参加：10%
- ・上記の項目及びその割合で評価を行う。  
出席及び授業中の取り組みを重視する。  
三分の一以上欠席した場合は不可とする。  
また、遅刻は3回で欠席1回と見なす。

#### 【成績評価基準】

上記の項目の合計が

- 90%以上：S
- 80%以上：A
- 70%以上：B
- 60%以上：C
- 60%未満：D（不可）

### 【オフィスアワー：授業相談】

事前にメール／電話等で連絡があることが望ましいが、原則として大学には毎日来ているのでいつでも相談に来てください。

### 【学生へのメッセージ】

「発表」は母国語でもけっしてやさしいものではありません。外国語（日本語）で発表するのはさらに難しいことです。聞き手の立場に立って情報と論理立てを整理し、聞き手にとってわかりやすい発表を行うことに挑戦しましょう。

### 【その他】